

義務教育学校開校に関する説明会 (就学時健康診断保護者説明会)



日時：令和元年10月1日(火)13:00～
場所：草野・飯樋・臼石小学校

飯館村教育委員会



令和元年9月 校名決定

飯舘村立

いいいたて希望の里学園

令和2年度に飯舘村の4つの学校は、一つの義務教育学校として開校します

草野小学校

飯樋小学校

白石小学校

飯舘中学校

竹のようにしなやかで、力強い子どもの育成



義務教育学校と
これまでの学校との違いは？



義務教育学校とは



| 項目 | 義務教育学校 |
|-------|---|
| 学校数 | 1つの学校 |
| 修業年限 | 9年(前期課程6年+後期課程3年) |
| 組織・運営 | 一人の校長・一つの教職員組織 |
| 教員免許 | 原則として小・中両方の免許状を併有 |
| 教育課程 | ・9年間の教育目標の設定 ・9年間の系統性・体系性に配慮がなされている教育課程の編成 |
| | ・独自教科の設定が可能 ・学年間の指導内容の入れ替えや移行が可能 |

一人の校長を中心とした1つの組織による一貫した教育

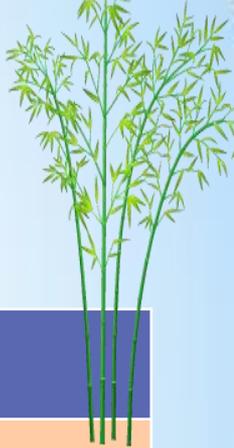
9年間一貫した教育目標・教育方針による系統的・計画的な教育

多くの教職員による児童生徒への9年間継続した指導・支援

9年間のカリキュラムの柔軟な編成・実施

多様な異学年交流により豊かな人間性と高い志を育成できる

現在の学校と義務教育学校との違い



| 項目 | 現在の小・中学校 | 義務教育学校 |
|-------|--------------------|---|
| 学校数 | 小学校と中学校が別々の学校 | 1つの学校 |
| 修業年限 | 小学校6年 中学校3年 | 9年(前期課程6年+後期課程3年) |
| 組織・運営 | それぞれの学校に校長と教職員組織 | 一人の校長・一つの教職員組織 |
| 教員免許 | どちらかの免許状を保有 | 原則として小・中両方の免許状を併有 |
| 教育課程 | 小学校と中学校が別々の教育課程を編成 | ・9年間の教育目標の設定 ・9年間の系統性・体系性に配慮がなされている教育課程の編成 |
| | | ・独自教科の設定が可能 ・学年間の指導内容の入れ替えや移行が可能 |

小学校と中学校の間には、

① 法令に規定されている事柄

② 学習指導要領等に規定されている事柄

③ 学校の文化の違い

などが存在している。

<一般的に指摘される小・中学校段階の主な差異>

- ①指導体制の違い(小学校:学級担任制／中学校:教科担任制)
- ②指導方法の違い(小学校:日常生活に根ざした比較的きめ細かい指導／中学校:比較的抽象度の高い内容を含めた指導)
- ③家庭学習の違い(小学校:担任が宿題を出す／中学校:教科担任が宿題を出す課題が出される)
- ④評価方法の違い(小学校:定期試験は実施されない／中学校:定期試験が実施され、小学校よりもテストに向けた計画的な学習が必要となる。

⑤生徒指導の手法の違い(中学校では思春期を迎える生徒を指導するという観点と、義務教育が終了し、進路(進学、社会に出る)を規則に基づいた生徒指導がなされる傾向)

⑥部活動の有無(中学校から部活動が始まり、放課後や休日の活動を行う機会も増える。先輩・後輩の人間関係に占める割合が高まる場合がある。)

小・中学校の円滑な接続が必要

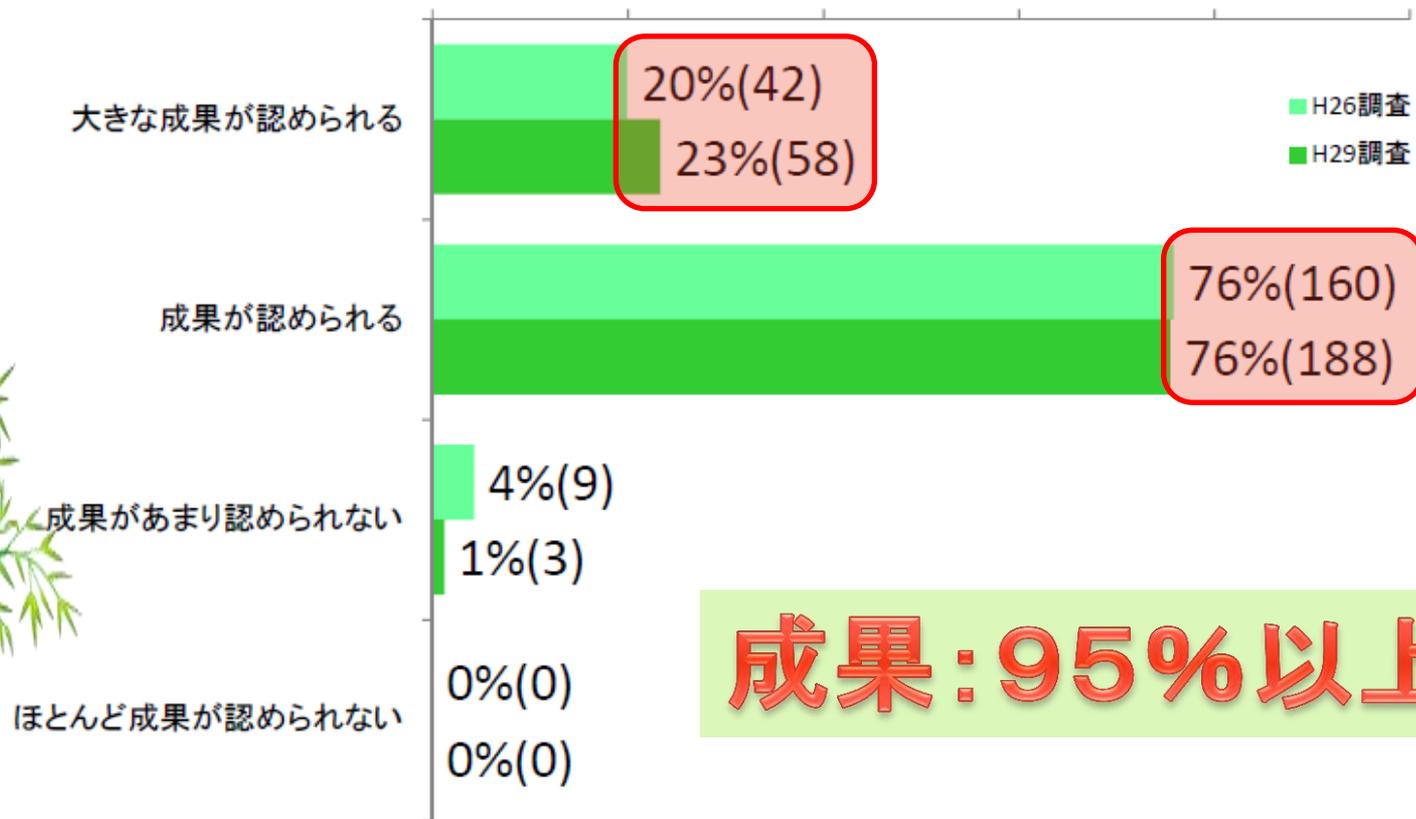
※義務教育学校においては、意図的な移行期間を設けた教育課程を編成し、小中の円滑な接続を目指す

義務教育学校で期待される**効果**



小中一貫教育のこれまでの取組の総合的な評価(成果)

【公立】



回答: H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

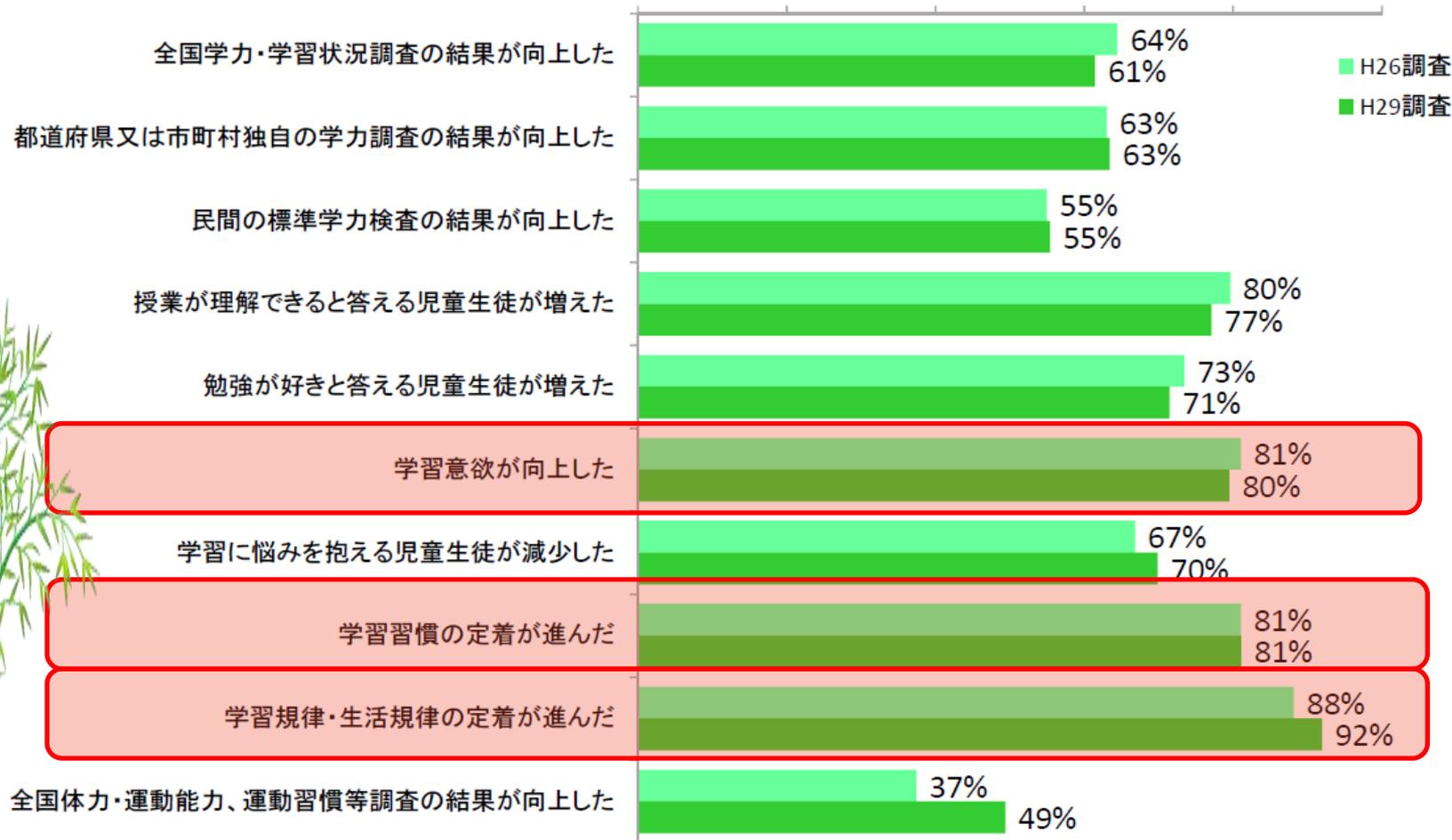
31

小中一貫教育の成果①

【公立】

学習指導等

※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



回答：H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

32

小中一貫教育の成果②

【公立】

生徒指導等

※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



回答:H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

飯舘村が目指す義務教育学校



よりよい未来を自分たちの
力で創ることができる子どもの育成

義務教育学校のメリットを 子どもたちに還元

9学年

8学年

7学年

6学年

5学年

4学年

3学年

2学年

1学年

前期課程修了時の
節目の式

義務教育学校への
一本化

学校の仕組みは変えない
・教科書、教材、学習内容
・高校入試
・各種大会への参加等
これまで通り

草野小学校
飯樋小学校
白石小学校
飯館中学校

教科担任

部活動

縦割り活動の充実

学級担任

一つの学校であることの一体感・安心感

独自の教科『ふるさと学習』

全教職員での指導

理念

- ・ 9年間を見通した教育活動
- ・ 少人数を生かした特色ある教育
- ・ 4校のよさをつなぎ、人・自然との共育を通して生きる力を育む

後期課程進級時の
節目の式

後期課程への
丁寧な橋渡し

中1ギャップへの対応

前期課程児童(56年)の
部活動参加(希望者)

義務教育9年間の学びと育ち

| 学 年 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|-----------------|-----------------------------|---|---------------------|---|----------------------|---|----------------------|---|---|
| 教育課程の区分 6-3制 | 前期課程 (小学校学習指導要領) | | | | | | 後期課程 (中学校指導要領) | | |
| 校 舎 | 同一校校舎 | | | | | | | | |
| 指 導 形 態 | 学級担任制 | | | | 教科担任制 | | | | |
| ふるさと教育 | 生活科 | | いいたてふるさと科(仮称) | | | | | | |
| 外国語活動・英語 | 外国語に親しむ時間 (適宜) 担任・ALT | | 外国語活動(週1) 担任・ALT | | 英語科(週2) 英語科教員・ALT | | 英語科(週4) 英語科教員・ALT | | |
| 縦割り活動 ・合同行事 | 運動会、学習発表会など | | | | | | | | |
| 部 活 動 | | | | | 希望参加 | | 年間部活動 | | |
| 服 装 | 前期用制服 | | | | | | 後期用制服 | | |
| か ば ん | ランドセル | | | | | | 指定かばんリュック型 | | |

切れ目のない小中一貫教育への転換

| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 |
|-------------------|----|----|----|--------------------|----|---------------------|----|----|
| 前期課程6年 | | | | | | 後期課程3年 | | |
| 学習指導・生活習慣の基礎基本の徹底 | | | | 前後期の円滑な接続と学習の習熟・定着 | | 個性・能力の伸張、自ら解決する力の育成 | | |

いいাতে希望の里学園では、子どもたち同士の交流や教職員の連携・協働で多様な教育活動に取り組んでいきます。

連続性・系統性に配慮した教育

子どもたちの成長に全ての教職員が関わる

教科担任制の拡大と前・後期課程相互に乗り入れ授業の充実

全学年での縦割り活動

9年間を見通した個に応じた学習指導により「確かな学力」の定着と「生きる力」の育成を図る

中1ギャップへの積極的な対応と生徒指導面における個に応じたきめ細かい指導により望ましい人間関係の構築を図る

きめ細かな指導と専門性を生かした指導を組み合わせることで、基礎学力の定着と深い学びの実践を充実する

9学年にわたる幅広い年代との交流により、豊かな人間性と社会性を育む

飯舘村の特色ある教育

校舎概要・就学支援



特色ある教育

(1) 飯館型授業スタイル

- ① 県の「授業スタンダード」との関連を図った、「飯館型授業スタイル」を設定し、問題解決型の深い学びを目指す授業を行います。
- ② あらゆる場面で、一人ひとりの子どものよさ・その子らしさ・がんばり等を積極的に価値付け、自己肯定感の醸成を図ります。

(2) 少人数教育

- ① 一人ひとりの子どもを深く理解し、個別指導や習熟度別指導など一人ひとりの子どもの実態に合わせた教育を行います。
- ② 少人数でしかできない、少人数ならではの、きめ細かな主体的・対話的で深い学びの実現を図ります。

(3) ふるさと教育

- ① 新教科「ふるさと科（仮称）」を通して、飯館の自然や伝統・文化等についての理解を深め、ふるさとへの愛情と誇りをもつことができるようにします。
- ② 飯館の課題や将来について、主体的に考え発信することにより、「発想力・協働力・課題対応力・発進力・地域力」等の資質・能力を育みます。

(4) こども園・小・中の合同授業・行事

- ① 休み時間や放課後など日常的な触れ合いの中で、豊かな心を育みます。
- ② 合同授業や合同行事、縦割り活動等を積極的に行うことにより、リーダーシップやコミュニケーション能力、実行力等の資質・能力を育みます。

(5) 芸術教育・読育・木育・笑育

- ① 一流の「人・もの・こと」との出会いにより、豊かな感性を育みます。
- ② 「読書・新聞・お笑い」等を授業に積極的に取り入れることにより、豊かな心や表現力、コミュニケーション能力等を育みます。

(6) 花まる学習会(学習塾)とのコラボレーション

- ① 花まる学習会のノウハウを生かした授業を行うことにより、思考力や表現力、想像力、前向きに生きようとする力等を育みます。
- ② 放課後や長期休業中に学習会（中学生）を行うことにより、学力の向上と目指す進路の実現を図ります。

(7) 食育と健康教育

- ① 家庭や地域と連携した食育活動や食育プラザの活用を行うことにより、「食べる力・感謝の心・郷土愛」等を育みます。
- ② 家庭と連携しながら体力づくりや肥満指導、歯科指導等を行うことにより、望ましい運動習慣や食習慣等を育むことができますようにします。

(8) 放射線・エネルギー教育

- ① 自分や地域を取り巻く放射線やエネルギー問題に関心をもち、主体的に取り組む意欲を育みます。
- ② 放射線やエネルギーに関する情報を正しく得て、よりよい解決方法や行動について考え判断すると共に、周りに発信する能力を育みます。

(9) 国際理解教育

- ① ALTを常駐させることにより、外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度や、グローバルコミュニケーション能力を育みます。
- ② 日本や外国の伝統・文化を理解すると共に、多様性を尊重しながら協働的に社会に貢献しようとする態度を育みます。

校舎概要

① 校長室（1階）

② 職員室（1階）：1室

- 1年生から9年生までの9年間を全職員が共に見守り、共に育てる、一貫教育の核となる場所です。

③ 保健室（1階）：2室

- 生徒指導的な機能もあるため、前期課程・後期課程各1室ずつ設置しています。

④ 普通教室（1・2階）：9室

- 1～4年生の教室は教職員がきめ細かに様子を見ることができるよう、1階に配置しています。
- 5～6年生の教室は2階東に配置し、7～9年生は2階西に配置し、学年間の連絡調整がスムーズに行えるようにしています。

⑤ 特別支援教室（1・2階）：4室（前期：2室 後期：2室）

- 前期課程、後期課程それぞれに教室を設置してます。落ち着いた環境で個に応じた指導を受けることができます。

⑥ 特別教室（1・2・3階）：14室

【1階】：家庭科室（1室）技術室（1室）相談室（2室）

【2階】：理科室（1室）図書室（1室）コンピュータ室（1室）生徒会室（1室）

【3階】：理科室（1室）音楽室（2室）美術室（1室）

相談室（1階）

- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの面談で利用することができます。
- 個別相談に対応することのできる部屋です。

進路相談室（1階）

- 進路の相談を行うことができる場所です。
- 一人一人の進路を一人一人の希望進路の実現に向けた話し合いをすることができます。

⑦ 多目的ホール（2階）

- 異年齢の子ども、教職員、保護者、地域の人々などが交流することができます。

⑧ ランチルーム（1階）

- 小・中学生と教職員と一緒に給食を食べることができます。学年毎だけではなく、縦割りのグループで食べたりすることもできます。
- 家庭科室やGBカフェと繋がっており、食を通じた様々な人たちの交流の場としても活用することができます。

⑨ 学童保育室（1階）：1室

- 1～6年生の希望者を受け入れています。
- 授業終了後から、19時まで。土曜日・長期休業中も受け入れています。
- 学童保育後、スクールバスで下校することもできます。

⑩ 体育館：2棟

- 前期課程、後期課程用それぞれ1棟ずつ設置しています。

⑪ プール：2

- 屋内に、小中学生用の25mプールと幼児・低学年用のプールを設置しています。

⑫ 校庭

- 小中学校共用。一部は芝生となっており、小学生が遊ぶための遊具を設置しています。

⑬ 前庭

- 一部は芝生とし、ビオトープやベンチを設けることにより、園児や児童、生徒だけではなく、保護者や地域の人が自然に集い、触れ合うことができるようにします。

就学支援

(1) 通学(スクールバス)

- 村外・村内を問わず、スクールバス等で送迎します。
- 放課後や長期休業中に行われる学童・村塾の送迎なども行います。

(2) 学童保育

- 1～6年生までの希望者は、無料で利用できます。
- 授業終了後から午後7時まで、土曜日や長期休業中も利用できます。
- 長期休業中は、給食がでます。

(3) 手作りの給食

- 温かくておいしい手作りの給食を、無料で提供します。
- 放射性物質の全品検査を行い、安心して食べることができるようにします。

(4) 制服・運動着

- 有名デザイナーによって新しくデザインされた園・小・中の制服を、無料で配布します。
- 運動着も、無料で配布します。

(5) 教材費等

- こども園入園から中学校卒業(0～15歳)まで、教材費やPTA会費等の諸経費は、全て村が負担します。